

1.長期成長ビジョン

人と競走馬がその力をいかんなく発揮できる雇用環境を地域と競馬ファンと従業員のキズナを構築して創出する。本ミネラルウォーター事業を通じた地方創生モデルを構築し地域の持続可能性向上と楽しい日本づくりに寄与。

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

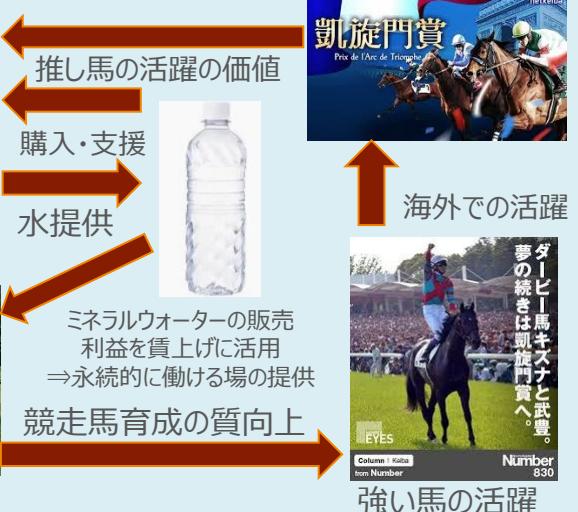
- 当社の目的(コース)は「強い競走馬の輩出を実現するために良質な育成環境を整えて人々の感動・ワクワクを創出する」である。今後は、地域の持続可能性を向上させて“楽しい日本”的実現にチャレンジすることをそのコースに加える。
- 海外でも勝てる強い競走馬を輩出するため、その競走馬を育む当社従業員への賃上げ環境とチーム力の強化を図り、世界で勝てる馬づくりを実現する。
- 大山の豊かな自然が育んだ水の魅力を伝えるミネラルウォーターの製造・販売を行い、このコースに共感するファンとのキズナを構築して観光振興にも寄与する。
- 伯耆町の地域・若者に支えられている競走馬育成事業に加えミネラルウォーター事業で加齢後も働く場を提供する地方創生モデルを構築する。



競馬ファン・当社見学風景
出典：読売新聞



競走馬育成事業



会社全体の売上成長目標(～2029年度)売上成長目標（2024年度比）

- 2029年度までの会社全体の売上高年平均成長率35.6%
- 2029年度までの会社全体の売上高増加額57億円を目指す。
- 新事業のみのため2024年比較は割愛。2027年度比で149%を目指す。

会社全体の賃上げ目標（1人あたり）

- 3.5%（直近事業年度～基準年度）
- 6.1%（従業員）5.95%（役員）（基準年度～事業化報告3年目）

外発的動機

- 日本は人口減少社会・少子高齢化がコロナ禍等を通じて加速度的に進んだ結果、低成長率に陥りGDPが4位に転落。
- 日本がもう一度輝き、夢を持てる国となるためには、世界にも挑戦・勝てる分野、ワクワクできることを多く育むことが必要となっている。
- 日本の成長・地域に育まれた当社グループの日本への恩返しのため、世界に勝てる馬づくりと水づくり、地域と連携した人づくりを通じて日本の再成長への夢と自信を回復させたい。
- 日本では近年「推し活」というアイドル文化に代表される評価や応援したい対象を支援することに喜びを強く感じる活動が盛んである。
- 本事業を通じて成長し得られるキャッシュを競走馬育成事業に関する従業員の賃上げとして分配し、成長と分配の好循環を創出する。

内発的動機

- 日本の地域の皆様に支えられて、当社は発展することができた。
- 当社Gr.は日本の高度成長の折、社会的な課題の公害問題やゴミ等の環境問題に果敢にチャレンジし解決することで事業拡大した。
- 一流の競走馬を育成する当社の牧場大山ヒルズの隣接地に広大な土地・水源を保有しており同土地の有効活用が可能。
- 日本の底力を再び取り戻すために、世界にも伍して勝てる分野として馬づくり、水づくり、人づくりを行う。その実現のためにミネラルウォーター事業を通じて競馬ファンが強い競走馬づくりに参画できる新たなキズナ・仕組みを構築する。
- 既存事業で働く人が加齢しても当社で働く場を提供したい。
- 人口減少社会の原因として大学へ進学のため他県へ進学・就職して地域から若者が消えてしまっている。その一つの解として県外の大学へ進学すること以外の道・伯耆町で住み、子供を育て、働く続けられる場を提供。伯耆町や地域企業とコラボしたひと・まち・しごとの大山・伯耆町モデルを構築したい。

2.補助事業の概要

労働集約型の競走馬育成事業からミネラルウォーター製造という装置産業に売上の軸足を移すことで労働生産性は、劇的改善。従業員へ労働分配を図り、良質な競走馬育成環境を実現！地方創生『伯耆町モデル』を構築する。

補助事業の背景・目的

- 補助事業により、労働集約型の競走馬育成事業の利益の限界に対し、大山特有の軟水でまろやかな水をペットボトルのミネラルウォーターとして商品化。得られた利益を既存と新規事業の従業員に分配。世界へ水と強い馬、日本の地方・地域の新しい価値を発信する。

事業費
(補助額)50億円
(17億円)

設備投資の内容

【設備投資の内容】

- ミネラルウォーター製造工場の建物工事
- ミネラルウォーターの製造設備
(ペットボトル自体の製造から水のろ過・充填の自動化装置による一貫生産体制)

【本設備投資での課題解決】

- 製造計画や生産管理はプラント管理の経験や水質管理ノウハウを豊富に持つグループ会社（都市クリエイト等）の社員を転属させて管理、従業員へOJTにて教育を実施し、当社内で生産ノウハウを蓄積する。
- ミネラルウォーターの製造、販売を連携する事業者である三友機器や喜多嘉和、岩崎氏から技術指導を受けて品質の高い製造体制と販売体制を構築する。
- 競走馬の育成環境の向上という課題解決のために、競走馬の育成に関わる人への給与水準の向上と新たな設備投資を行う。競走馬の育成に関わる人の士気向上と環境改善に繋がるため強い・良質の馬の生産・育成が可能となる。
- ミネラルウォーターの製造販売を通じて当社の事業と競馬の感動を広く世の中に伝える。大山ヒルズの育成馬のパッケージを商品化したミネラルウォーター「うらら(PBブランド名)」の販売とマーケティングを行う。従業員の士気向上を図り世界に通用する馬づくりを実現。競馬ファン等がミネラルウォーターを購入することで、世界に通用する馬づくりに参画し、その感動を分かち合うことが可能となる。
- 鳥取県伯耆町と連携しミネラルウォーターを核とする、まち・ひと・しごとの地方創生モデルを構築。少子高齢化の社会課題を解決する『伯耆町モデル』を構築する。



工場操業イメージイラスト

目標値

項目	2026年度（基準年度）			2029年度（基準年度+3年後）		
	鳥取	大阪	全社	鳥取	大阪	全社
労働生産性 (単位：万円/人)	963万円			3,099万円 (年平均上昇率+47.6%)		
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	428万円	615万円	481万円	518万円 (年平均上昇率+6.6%)	773万円 (年平均上昇率+7.9%)	575万円 (年平均上昇率7.0%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	鳥取役員在籍なし	- (7人)	- (7人)	鳥取役員在籍なし	- (7人) (年平均上昇率+5.95%)	- (7人) (年平均上昇率+5.95%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	60人	24人	84人	84人	24人	108人